

水田フル活用・大豆大麦生産性向上対策事業

南砺市農林課農政係

1. 事業の目的

担い手経営体の経営安定には、水田フル活用による大豆・大麦の収量や品質の向上が不可欠であることから、水田作における排水対策等を早急に改善し、大豆等の生産性向上と担い手の経営安定を図る。

2. 事業の内容

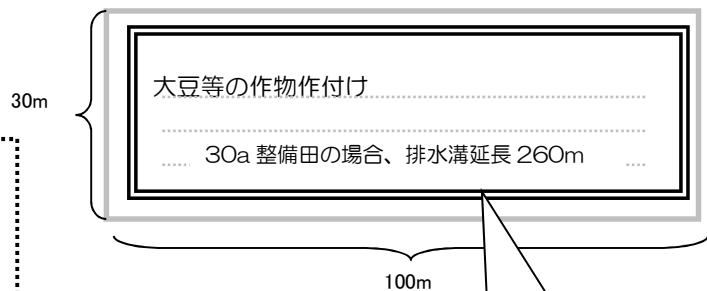
〔支援対象の取組〕

大豆、麦の作付け農地での
担い手による額縁排水溝の施工

原則、28年度に設置された額縁排水対策ほ場での作付け
《H28産大豆（後作含む*）、H29産大麦》

*後作大豆への助成は、前作の麦において額縁排水溝が設置されておらず、かつ、耕作者が異なる場合のみとする。

〔額縁排水溝の設置イメージ〕



〔事業費〕

800円以内/10a

*単価は、県にて調整後、
H29年1月頃に決まります。

〔交付先〕

以下のいずれかに該当する担い手経営体

- ・認定農業者
- ・集落営農組織
- ・認定新規就農者
- ・中心経営体

〔事業実施期間〕

平成26～28年度

連作障害を避けるため、作付けほ場は
毎年移動。3年間で概ね一巡。

※平成28年度が最終事業年度になります

〔提出物〕

額縁排水の設置により、収量・品質が向上




次ページに明記

平成28年度助成対象分の事務スケジュールについて

- ① 交付申請書（大豆分）を受付しますので提出してください。（7月末〆切予定）
- ② 交付申請書（大麦分）を受付しますので提出してください。（10月末〆切予定）
- ③ 助成単価が確定しましたら、①と②の交付決定を行い、
①と②の実績報告書の提出を依頼します。（29年1～2月頃）
- ④ 実績報告書（大豆分、大麦分）を受付しますので提出してください。
- ⑤ 全ての助成対象者からの実績報告書が揃い次第、交付します。（29年4月）

〔提出物〕

- ← **それぞれ施工前に提出**
- 《施工前》
- 交付申請書
 - 事業計画書
 - 作付け計画図面
- ← **交付決定通知が届いてから、大豆と大麦各々に作成して提出**
- 《交付決定後》
- 実績報告書
 - 事業実績書
 - 作付け図面
 - 実施状況の写真（額縁排水溝）※施工時に撮影し、保管してください。
※作業中の様子写真ではありません。
 - 作業したことがわかるもの（主に作業日誌）
 - 請求書

 大豆大麦生産性向上対策事業に関する Q&A

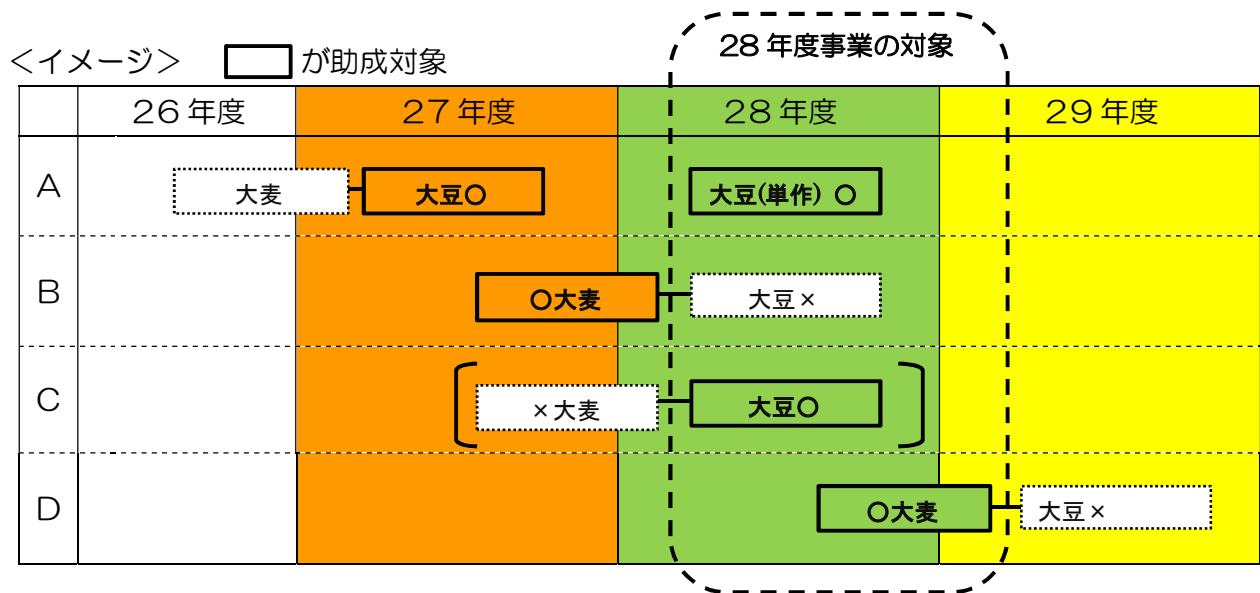
(問 1) 本事業の助成単価「800 円以内/10a」となっているが、助成対象者ごとへの交付額は「1,000 円未満切り捨て」となるのか。

(答) 交付額は、助成対象者ごとに「100 円未満切り捨て」とします。

(問 2) 前年産から同一ほ場で、大豆(単作)→大豆(単作)に取り組む場合、既に額縁排水溝が設置されているが、助成対象として良いか。

(答) 助成対象になります。

なお、排水機能がしっかりと維持されるよう、必要な手直しを行うことが要件となります。



*後作大豆への助成は、前作の麦において額縁排水溝が設置されておらず、かつ、耕作者が異なる場合のみ